



す ぎ こ 杉 つ 子

令和7年12月11日 発行
学校だより 第8号
射水市立小杉小学校
TEL 0766-55-1055
E-mail kosugi-e@imizu.ed.jp

あっという間の1年間

校長 杉 高 浩

早いもので、2025年の締めくくりの月「師走」となりました。12月になると街やTVから賑やかな音楽が聞こえますが、私の12月の歌と言えば、山下達郎の「クリスマス・イブ」です。でも、本当に1年があっという間に過ぎていってしまう気がします。先日、時間の経過が早く感じるのはなぜだろうか?と思い、インターネットで調べてみました。いくつも研究されていて色々な学説も出ているようです。その中でも有名なのがフランスの心理学者ピエール・ジャネ(1859~1947)らが提唱した「心理的時間は年齢に反比例する」という考えに基づいた「ジャネの法則」です。

50歳にとっての1年は、人生の50分の1です。かたや10歳にとっては、人生の10分の1を占めます。そう考えると50歳の1年は10歳の5年に匹敵すると考えられます。同じ「1年」「1日」「1時間」であっても、10歳の子供の体感時間は、50歳の大人の5倍以上の長さを感じるということです。だから人生が長くなれば、心理的に1年間が早く感じるというものです。確かに自分が子供の頃、夏休みはすごく長く感じられ、冬休みもクリスマスからお正月までたっぷり時間があり、十分に楽しめたような気がします。



家族の普段の会話で、母「早くお風呂にはいりなさい」、子「あと5分待って!」と言いながらタブレットをいじっているというようなことはありませんか?大人は「5分でたいしたことがないんだから・・・」と思うわけですが、子供にとっては大人の5倍、25分間の感覚ですから、結構なことができると思っているわけです。逆に、親子で出かける日に、母親が出かける直前に化粧をしていて、母「ちょっと10分待って」と言うと、子供は何度も「まだ~?」とせかしてきます。母「なんでちょっと待てないの!」と、こっちがイライラすることもあります。でも、大人にとっての10分は子供にとっての50分なのです。さすがに50分待たされたら誰でもイライラします。

また、「新鮮な経験」が多いほど、時間の経過は長く感じるという考え方もあります。子供の頃は見るもの聞くもの未経験のことが多く、その分たくさんの出来事があった(=時間が長い)と感じるのであります。一方、大人になると「経験」によって処理できることが多くなり、その分新鮮さや強い印象が薄くなります。だから出来事の数が少ない(=時間が短い)と感じるのであります。「ジャネの法則」は単純な年数の問題だけではなく、「経験の積み重ね」等も関係して、年をとると1年が短く感じるようになるのです。

いよいよ1年のまとめに入ります。この1年を振り返りながら新しい年に向けて各自の目標を立てるのはいかがでしょうか。新しいことに挑戦し続ける人は、常に新しい刺激を受け、本当の意味で「長い」人生を送ることができるかもしれませんね。大人も子供も与えられた「時間」を大切にしていきましょう。

学校保健委員会を行いました

11月21日（金）の学習参観後に全校で学校保健委員会を開催いたしました。インフルエンザで学級閉鎖をしている学級もあることから、欠席者の多い学級は教室でテレビ中継を通して参加し、それ以外の学級の児童と20名余りの保護者は体育館で参加しました。

今年度は富山福祉短期大学 幼児教育学科教授の小川耕平先生をお招きして、「めざせ！アクティビキッズ、お家でできる健康体力づくり」で実際にからだを動かすゲームなども取り入れてお話をいただきました。お話の中では「まず一日に60分以上はからだを動かす」ということでした。自分で歩いて登下校することもからだを動かすことになるので、毎日自分で歩いて登下校しようと話されました。

少し寒い日でしたが、多くの保護者の方々にご参加いただき、ありがとうございました。



愛レンジャーさん感謝集会

12月9日(火)に日頃お世話になっている愛レンジャーさん(見守り隊)の方々に感謝を伝え、ふれあいゲームと一緒に楽しみながら、親交を深めることを目的に集会を行いました。

集会では、集会委員会の児童が愛レンジャーさんへの感謝の手紙を読み、代表の児童が愛レンジャーさんに手渡しました。その後、愛レンジャーの方を縦割りグループに招き入れて「文字数しりとり」ゲームを楽しみ、親近感が高まりました。最後は全校で「世界が一つになるまで」を合唱し、愛レンジャーさん方へ素敵な歌声で感謝の気持ちを伝えました。

当日は16名の愛レンジャーの代表の方に出席いただきましたが、暑い日も寒い日も子供たちの登下校の安全を見守ってくれている245名の愛レンジャーの方々に子供たちの感謝の気持ちが届くことを願うとともに、これからも子供たちの見守りをよろしくお願いします。



第13回富山県PTA会員大会

さる11月29日(土)、富山県民会館にて、第13回富山県PTA会員大会が開催されました。今年度の大会でPTAの取組等を発表する研究指定発表で本校のPTAが「[地域と歩んだ150年～すぎっ子ファースト！！PTAは子ども応援団～](#)」をテーマに須藤PTA会長がこの2年間の地域連携を柱としての取組等を発表されました。発表に対し、県PTA連合会の寺島アドバイザーから「地域の力をPTAがうまく引き出せると学校の負担が軽くなるとともに子どもたちの世界が広がる」と講評をいただきました。

これからも小杉小学校PTAが地域とともに、杉っ子のすこやかな成長を支えてくださる縁の下の力持ちとなって、学校の教育活動を支援していただけることを切にお願い申し上げます。